

▶ TOPICS

新製品の発売

■ 腱滑膜巨細胞腫(TGCT)治療薬 ROMVIMZA、米国で新発売

2025年2月、当社グループの米国デサイフェラ社が研究、開発したキナーゼ阻害剤「ロンビムザ」が、米国食品医薬品局(FDA)において腱滑膜巨細胞腫(TGCT)の成人向け治療薬として承認され、米国で新発売しました。

TGCTは、関節の内側などに発生する非悪性の希少がんです。関節の激しい痛みや運動障害などが起こり、日常生活で大きな支障が生じる恐れがあり、多くのTGCT患者さんの治療に貢献することが期待されます。



創薬提携

■ 韓国LigaChem社と抗体薬物複合体(ADC)についてライセンス契約、創薬提携契約を締結

2024年10月、当社は韓国LigaChem Biosciences社(リガケム社)と固形がん領域において、前臨床段階の抗体薬物複合体(ADC)の「LCB97」に関するライセンス契約を締結しました。

ADCは抗体に抗がん剤を結合したがん治療薬で、がん細胞を効果的に攻撃することに期待が寄せられています。今回の契約では、当社は固形がんを対象にLCB97を全世界で独占的に開発・製造・商業化する権利を取得します。なお、本契約とは別途、創薬提携契約を締結しており、新たなADC創製にも取り組んでいきます。

■ 米国Ionis社と真性多血症治療薬候補についてライセンス契約を締結

2025年3月、当社は米国Ionis Pharmaceuticals社(アイオニス社)と、同社が真性多血症治療薬として開発中の「Sapablursen(サパブルセン)」について、ライセンス契約を締結しました。

真性多血症は、赤血球が過剰に産生され、肺、心臓、脳などで重篤な血栓のリスクが大幅に増加する希少な血液疾患です。サパブルセンは現在、成人の真性多血症の患者さんを対象とした第Ⅱ相IMPRESSION試験が進められており、米国食品医薬品局(FDA)からは、2024年1月にファストトラック指定を、2024年8月にオーファンドラッグ指定を受けています。

当社は全世界を対象に、独占的にサパブルセンを開発、商業化する権利を取得します。

■ カナダCongruence社とがん領域における新たな低分子化合物の創製に向けた創薬提携契約を締結

2024年12月、当社は、カナダCongruence Therapeutics(コングルエンス社)と、がん領域において創薬提携契約を締結しました。タンパク質の複数の形態を標的とする新たな低分子化合物の創製を目指します。

当社は、創製された低分子化合物に関して、全世界で独占的に開発・製造・商業化するオプション権を取得します。

■ リボルナバイオサイエンス社と中枢神経領域におけるRNA標的的低分子医薬品の創製に向けた創薬提携契約を締結

2025年3月、当社は、株式会社リボルナバイオサイエンス(本社：神奈川県藤沢市、リボルナ社)と、中枢神経領域において創薬提携契約を締結しました。リボ核酸(RNA)を標的とする新たな低分子化合物を創製することを目指します。

当社は、リボルナ社のRNAを標的とした独自の創薬プラットフォームを用いて、共同で創薬研究を実施します。当社は、創製された中枢神経系希少疾患を対象とした低分子化合物に関して、全世界で独占的に開発・製造・商業化するオプション権を取得します。

企業

■ 米欧拠点を機能再編

2025年2月、グローバル展開の拡大、加速に向け、当社の米国と英国の各拠点(現地法人)の機能を再編することを決定しました。これまで米国における開発・販売拠点、欧州などの開発拠点として主導的な役割を担ってきたONO PHARMA USA, INC.(OPUS)の機能を、昨年買収したDeciphera Pharmaceuticals(デサイフェラ社)に2025年7月を目途に統合します。デサイフェラ社は、米欧等において開発・販売基盤を有しており、統合後は既存のがん領域に加えて他の疾患領域の米欧での開発及び販売を担う当社グループの新たな事業拠点となります。

関連して、2025年3月にONO PHARMA UK LTD.(OPUK)の開発機能を閉鎖しました。なお、法人としてのOPUSについては研究提携活動、ライセンス活動の拠点として、OPUKは研究提携活動の拠点としてそれぞれ存続する方針です。

サステナビリティ

■ 「Dow Jones Sustainability Index」にて医薬品セクターでトップスコアを獲得

2024年12月、世界の代表的なESG投資指標であるDow Jones Sustainability Indices (DJSI) において「DJSI World Index」および「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に5年連続で選定されました。

なお、DJSI World Indexには、全世界を対象として各業界で上位10%に入った企業が選定されています。2024年は医薬品セクターでは当社を含む上位5社が選定されており、当社は全世界の医薬品セクターの中でトップスコアの評価を受けました。

■ S&P「The Sustainability Yearbook - 2025 Rankings」最高評価の「Top 1%」に選定

2025年2月、当社は世界的な調査・評価機関であるS&P Global社が発行した「The Sustainability Yearbook 2025」において、当社が所属する「医薬品」業界における最高評価の「Top 1%」に選定されました。

「The Sustainability Yearbook」は、S&P Global社が実施するサステナビリティ評価「CSA (コーポレート・サステナビリティ・アセスメント)」に基づき、各業界においてサステナビリティの取り組みに優れた企業を選定して掲載しています。

「The Sustainability Yearbook 2025」においては、グローバル企業7,690社以上の評価対象企業のうち、高い評価を獲得した780社が掲載され、さらに各業界における上位1%にあたる最高評価「Top 1%」には65社 (日本企業は当社を含め9社) が選定されました。

当社は、医薬品事業を通じた「人々の健康への貢献」に加え、「次世代への豊かな地球環境の保全」、「いきいきと活躍できる社会の実現」、「透明性の高い強固な経営の確立」のサステナブル経営方針のもと、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

